

3者会議、ワンレスなど拡大強化

施工効率向上へ推進期間

省 交

ASP試行は1000件目標 国

国土交通省は、3者会議、ワンデーレスポンス、設計変更審査会などの取組について拡大強化を図る「施工効率向上プロジェクト推進期間」を今月24日から12月末まで実施する。推進期間の開始にあたり策定したプロジェクト推進の重点方針を各地方整備局に周知した。設計変更手続きの円滑化だけでなく、スケジュールや工事書類などの受発注者間のやり取りをインターネットを活用して効率的に行うASP（アプリケーション・サービス・プロバイダ）の試行工事の拡大など、公共工事契約プロセス全般にまたがる受発注者間コミュニケーションの円滑化と生産性向上を全整備局に促す。

同プロジェクト推進期間中は、工期末に向けて設計変更審査件数が多い年末を強化期間と設定し、各整備局での取組を推進することが狙い。今年度上半期に各整備局が実施した受注者アンケートの集計結果では3者会議、ワンデーレスポンス、設計変更審査会の取組に対して受注者の約9割が継続を要望し、試行内容にプラス評価を与えている。ただし、受注者回答では改善点として「開催までに時間を要する」「発注者は現場を見て判

断して欲しい」（3者会議）、「書類作成に時間を要する」「回答期限が1人歩き」（ワンデーレスポンス）、「書類作成や日程調整に時間がかかる」「発注者が現地状況を把握していない」（設計変更審査会）——といった意見回答もあった。アンケート結果を踏まえた重点方針では、3者会議、ワンデーレスポンス、設計変更審査会の対象拡大を明記。あわせて会議日程の定例化による日程調整負担の軽減、ASPの活用によるスケジ

ュール管理の効率化を盛らう。3者会議は工事着手前段階の橋梁やトンネルなど重要構造物の全工事を実施を図る（昨年度は約2000件）。ワンデーレスポンスは全工事を実施（昨年度約5000件）。設計変更審査会の開催は実施対象となる工事規模の枠を外すなど各整備局で対象工事の拡大を図る。

このほか、発注者側に求められている現地状況把握の効率化を図るため、一部工事現場にお

ける設計変更審査会や3者会議の開催を計行。また、整備局発注工事（本官発注工事、3億円以上）の一部工事について、局側が参加する「テレビ会議」の開催を設計変更審査会などで試行する。加えて、実際の工事現場と一致していない設計図書

の照査を請負業者が行う際、照査範囲を超える部分の作成費用について必要分の負担を発注者側が適正に行うことも明記した。工事書類の簡素化については土木工事書類作成マニュアル案に基づいて、現場での徹底実施を盛り込んだ。

ASP試行工事の実施については直轄1000件を目標に実施する方針を盛り込んだ。ASPは受発注者間のスケジュールや協議内容の共有、工事書類の作成・提出、決裁、電子納品データの作成支援などの受発注者間のやり取りをインターネットを通じて行う。情報共有システムには事業者からレンタルしたアプリケーションソフトを用いる。当初契約から3者会議、ワンデーレスポンス、設計変更審査会を経て変更契約、電子納品に至る公共工事プロセスの効率化につなげていく。